

(福島県議会)

[自民党、公明党、県民連合] 様

令和6年度 県予算編成に対する要望について

福島県土地改良事業団体連合会

会 長 齋 藤 善 平

令和6年度 県予算編成に対する要望事項

団体名 福島県土地改良事業団体連合会

番号	新・継	項目	要望理由	所要経費	関係部課
			<p>平素から、農業農村整備事業等の推進にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、復興・創生期間である東日本大震災等の被災地域においては農地及び農業施設整備等の復興事業が地域再生のために極めて大きな力を発揮しておりますが、現在においても未だ事業着手に至らない地区もあることから、農業・農村再生に向け事業の早期実施が求められます。</p> <p>しかし、現場では人口減少、高齢化、担い手不足等の課題が加速しており、担い手のための地域営農推進支援や、ダム・頭首工・用排水施設等の農業水利施設管理の効率化、地域の災害リスク軽減のための国土強靱化、これらを現場で支える土地改良区の運営基盤の強化は急務となっております。</p> <p>加えて、大規模災害の増加は全世界的な課題となっており、令和4年8月の豪雨災害に代表されるように県内でも豪雨や地震など甚大な被害をもたらしており、被災地域の早期復旧に努めていく体制強化が求められております。</p> <p>つきましては、この現状を踏まえ以下のとおり要請いたします。</p>		<p>農林水産部 農林総務課 農林企画課 農村計画課 農村振興課 農村基盤整備課 農地管理課</p>

番号	新・継	項目	要望理由	所要経費	関係部課
1	継	復興予算確保及び農業農村整備関連予算の復活について	<p>未だ道半ばである避難地域12市町村における農地整備等の復興事業が完了するまでに必要となる予算確保を要望いたします。</p> <p>加えて、東日本大震災以来、効率的な地域営農に資するほ場整備や農業水利施設の整備・更新、防災・減災対策、農業集落排水事業などの農業農村整備事業予算については、復興予算が優先されてきましたが、他の地域の課題が山積するなど、本来の予算を確保する必要性が高まっているため、令和6年度当初予算確保を要望いたします。</p>		
2	継	農業水利施設の効率的管理、老朽化対策等に必要な予算の確保について	<p>農業生産の基礎となる農業水利施設の適切な維持管理により、安全・安心な食料の安定供給の確保を図るとともに、地域の防災をはじめ、多面的機能の発揮に貢献をしておりますが、施設の耐用年数を迎え老朽化対策が必要な施設が増加しております。</p> <p>この膨大なストックを形成している農業水利施設の有効かつ長期的維持活用を図るため、ストックマネジメント関係予算の確保を要望いたします。</p>		

番号	新・ 継	項 目	要 望 理 由	所要 経費	関係部課
3	継	農業水利施設の持続可能な保全管理システム構築への支援について	<p>現在、避難指示・解除区域においては、営農再開が不規則に進行し、頭首工や用排水路等の農業水利施設を安定的に保全管理することが困難となっていることを受け、国・県・市町村・土地改良区が地域の実情に応じて支援することを可能とする取組みが行われております。</p> <p>これは、営農再開を目指す地域に限らず少数による地域運営が避けられない他の全ての地域に必要な新たな保全管理システムであり、継続して必要な予算を確保するとともに今後のシステム構築に対する支援を要望いたします。</p>		
4	継	大規模災害発生時に最大の機動力を発揮可能な体制の整備について	<p>大規模災害では公共災害優先となり、農地・農業用施設等に係る調査・設計・積算の対応が遅れることから、査定までの工程について従来通りではなく、災害規模に応じた柔軟性が与えられるよう要望いたします。</p> <p>また、被災現場の機動力を最大に発揮できるよう、外部支援者を含めた効率的な人員配置や役割分担、状況変化に即応した調整を行う統括管理者（復旧統括マネージャー）の育成・確保を国に対し要望いただくようお願いいたします。</p>		

番号	新・ 継	項 目	要 望 理 由	所要 経費	関係部課
5	継	土地改良区の運営基盤安定、 強化に向けた支援について	<p>国民の期待が高まる農業・農村において、食料安全保障や安全安心な生活環境の観点から活力ある地域運営などを総合的・技術的に支えることが可能な土地改良区が、将来にわたり安定した運営を維持することができるよう公的支援制度の導入を要望します。</p> <p>また、土地改良区が土地改良事業団体連合会に土地改良事業の工事を委託する制度の適正な運用に向けた支援を要望いたします。</p>		
6	新	女性が活躍できる社会実現に 向けた支援	<p>各地域では恒常的に人員が不足しており、土地改良区も例外ではないため、女性職員に対しても男性職員と同様の期待が寄せられています。</p> <p>一方で女性は母となり、家庭を切り盛りしながら職責を果たしていくのは本当に大変です。それぞれの職場や家庭の理解と協力、そして何より本人の責任感によって何とか続けていくことができますが、本人や職場の努力だけでは解決が困難な課題も多く存在するものと思います。</p> <p>ワークライフバランスのための柔軟な意識醸成や男女相互に強みが活かすことができる環境の整備など、女性が活躍できる社会実現のための支援を要望いたします。</p>		